

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年05月29日

計画の名称	平塚市都市公園整備計画（海岸エリア）第2期													
計画の期間	令和07年度 ～ 令和07年度（1年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	平塚市													
計画の目標	都市公園等の社会資本はその機能、役割のほか、災害時の避難や物資運搬の拠点等重要な役割も担っている。 平塚市では、余暇が多様化している現在の利用者ニーズへの対応や、圏央道開通などの広域交通網整備による効果を活かし、市の存在感を内外へアピールすることで「選ばれるまち・住み続けるまち」となるよう、取組を進めている。 そこで平成28年5月に「ひらつか海岸エリア魅力アップチャレンジ」を策定し、本構想の5つのエリアの1つである龍城ヶ丘ゾーンでは、新たな魅力づくりや魅力の発信を行うことを通じ、本市全体の魅力の向上を図る施設として安心・安全な都市公園整備を目標とする。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		863	A	863	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初		R7末
1	市民1人あたりの公園面積を、5.50㎡/人から5.57㎡/人にする。 都市公園等面積／都市計画区域内人口	550㎡/100人	㎡/100人	557㎡/100人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	平塚市	直接	平塚市	－	－	官民連携型賑わい拠点創 出事業	P-PFI事業（23,589㎡）	平塚市	■					863	3.37	策定済
											小計						863		
											合計						863		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本整備総合交付金交付要綱（令和7年12月16日最終改正）及び社会資本整備総合交付金に係る計画等について（令和5年9月22日改正）等に基づく事後評価の実施。	令和8年3月
	公表の方法
	市のホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	公園を整備したことにより、市民が身近に利用できる公園空間が拡充され、生活環境の向上が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今後も新たな社会資本総合整備計画において、引き続き事業を推進していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	市民一人あたりの公園面積率		
	最 終 目標値	557㎡/100人	公園整備が想定以上に進んだことに加え、人口減少により市民1人あたりの公園面積が増加したため、実績値が目標値を大幅に上回った。
	最 終 実績値	571㎡/100人	